

2023-24 年度 第 1 回（公社）日本動物学会関東支部委員会 議事録

日時：2023 年 7 月 12 日（水）17:00—18:10

会場：オンライン会議（webex）

出席者（敬称略）：和田、伊藤、神田、吉田、谷口、沓掛、入江、深津、小柴、二橋、細、馬谷、守野、乾、久保、林、山元、中野

報告事項

1) 支部長報告（和田支部長）

- 2023 年度の講演会、支部大会の準備を進めていきたい。
- 6 月 17 日開催の理事会で報告された、UniBio Press からの Zoological Science 購読料返還について説明があった。

2) 2022 年度活動報告（資料 1）

資料に基づいて小柴委員（庶務）から報告があった。

3) 2022 年度会計報告（資料 2）

資料に基づいて二橋委員（会計）から報告があった。

4) 2023 年 3 月関東支部大会開催報告（資料 3）

資料に基づいて、主に以下の件に関して乾委員から報告があった。

- 関東支部大会用のアカウントの引き継ぎは、Google のセキュリティポリシーが問題となる場合がある。
- 高校へのアナウンス方法が複雑である。
- 口頭発表の会場数を増やすと、座長や運営アルバイトが不足する場合もある。
- 高校生発表と一般口頭発表は同時進行だと参加者が分かれてしまう。
- シンポジウムが午後の最後の時間だと、その前に帰宅する参加者もいる。

5) 2023 年 7 月支部講演会の準備状況（資料 4）

資料に基づいて馬谷委員から報告があった。

審議事項

6) 2023 年度事業計画（資料 5）

資料に基づいて小柴委員（庶務）から説明があり、承認された。

7) 2023 年度予算案（資料 6、7）

資料に基づいて二橋委員（会計）から予算案、会計監査報告書の説明があり、いずれも承認された。

8) 2024 年 3 月関東支部大会の準備状況（資料 8）

資料に基づいて林委員・久保委員から説明があった。

- 東大理学部 2 号館のポスターパネルは持ち運びが難しい。工学部所有のポスターパネルもあり、場合により使用することを検討している。
- 学会員がシンポジウム講演者になる場合、旅費や謝金を支給するかは支部大会ごとの判断。
- 伊藤国際学術センター開催で準備を進めるが、予定費用が大会予算を超過すると考えられる。
- ここ数年の支部繰越金の増減や今年度の講演会の支出計画などを考慮すると、予定費用の不足分を繰越金から支出することは可能と考えられる。
- 参加費は徴収せず、不足分は繰越金から支出することが承認された。

- シンポジウム講演者に関して、二橋先生、平沢先生、田中先生、入江先生などが候補にあがった。今後、大会準備委員会で講演者を決定する。
- シンポジウムの講演は高校生にもわかるような内容が望ましい。

- シンポジウム後に学会員以外の方々に退室していただければ、総会の開催にあたって会場の変更は必要ではない

9) その他

2025 年 3 月の支部大会会場として、産業技術総合研究所を第一候補とする。

- 共用講堂の利用で会場費は無料になる。
- 駅から距離があるが、バスが利用可能。
- 土日は食堂が閉まるので昼食や懇親会が難点になる可能性がある。2023 年 3 月の明治大学での支部大会のようにキッチンカーの利用も検討する。

その他候補として、近年の開催状況からお茶の水女子大学と埼玉大学があがった。

次回支部委員会は 11 月下旬～12 月上旬頃に開催予定